

BTCC “**新規口座開設限定**”

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら



FTX破綻の影響は？ 顧客資産の行方や他社への波及を懸念

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/research-analysis/what-are-the-consequences-from-the-ftx-bankruptcy-concerns-about-the-whereabouts-of-client-assets-and-spillover-to-other-companies>

仮想通貨取引所大手のFTXトレーディング（FTX Trading）は11日、同社と関連企業計約130社が破綻手続きを申請したと発表しました。倒産した大手仮想通貨取引所事業者として、FTXの債権者は10万人を超え、負債は数兆円に達する可能性があります。これは業界では過去最大の失敗であり、多くの国がその影響を懸念しています。



【関連記事】

[関東財務局、FTXジャパンに行政処分 交換業を停止要請](#)

[アラメダの財務不安で、FTX買収撤回の原因か](#)

[バイナンス、FTX買収を撤回 ビットコインとFTXトークン急落](#)

[FTXトークン（FTT）は74%急落 バイナンスのFTX買収合意を受け](#)

[バイナンス、FTX米国以外の事業買収の合意を発表](#)

[FTXトークン（FTT）とは？特徴や将来性を解説【仮想通貨】](#)

FTX破綻、サム・バンクマン・フリードCEOが辞任

バハマに本社を置くFTXトレーディングは11月11日、米国や日本の子会社を含むグループ会社約130社が、日本の民事再生法に相当する破産法の適用を裁判所に申請したことを発表しました。

AP通信によると、債権者は10万人以上、資産・負債は100億ドル（約1兆4千億円）から500億ドル（約7兆円）にのぼるといふ。

これは暗号資産業界における最大のビジネス失敗であり、「ビットコイン」をはじめとする仮想通貨の価格は急落しています。

また、多くの国々で事業を展開しているため、その影響は広がっています。

ロイター通信によると、破綻後に辞任したバンクマン・フリード前CEOは、FTXの顧客資金100億ドルをひそかに自分の投資会社に移し、そのうち約10億～20億ドルが用途不明になっているといふ。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

FTX破綻からもたらす影響は？

FTX破綻からもたらす影響といえば、大きく分けて下記の三点です。

①「ビットコイン」など仮想通貨の急落

FTXは11月9日にバイナンスと買収に合意することを発表して以来、仮想通貨市場は極端な変動に見舞われています。買収発表を受け、FTXトークン（FTT）は大きな暴落を記録し、一日で74%以上の下落も致しました。

[FTXトークン（FTT）は74%急落 バイナンスのFTX買収合意を受け](#)

[FTXトークン（FTT）とは？特徴や将来性を解説【仮想通貨】](#)

その後、FTXの財務状況はバイナンスの予想以上厳しくなっているため、バイナンスは買収の方針を撤回すると発表しました。これを受け、仮想通貨市場は暴落し、ビットコイン（BTC）は16,000ドル割れとなり、2020年11月以来の最低値を記録しました。

[バイナンス、FTX買収を撤回 ビットコインとFTXトークン急落](#)

FTXトレーディング（FTX Trading）は11日、同社と関連企業計約130社が破綻手続きを申請したと発表し、ビットコインを初めとする仮想通貨市場の下落トレンドが止まらないです。

②顧客の資産の行方を懸念

倒産を申請したFTXは、日本法人であるFTXジャパンも含まれているため、顧客の資産の行方に関心が集まっています。

金融庁は、同社が親会社であるFTX商事株式会社（FTX）と区別して顧客資産を管理・保護しており、「日本の顧客の資産が消滅することは考えにくい」（執行役員）と判断しています。

ロイター通信によると、破綻後に辞任したバンクマン・フリード前CEOは、FTXの顧客資金100億ドルをひそかに自分の投資会社アラメダに移し、そのうち約10億～20億ドルが用途不明になっているという。

[アラメダの財務不安で、FTX買収撤回の原因か](#)

[FTX、アラメダに100億ドルの顧客資金を「不正流用」か](#)

FTXは、昨年、メジャーリーガーの大谷翔平選手と広告契約を結んだことでも知られています。FTXジャパンも日本で事業を展開しており、顧客資産の行方に関心が集まっています。

同社は、親会社の方針に基づき、11月9日にお客様からお預かりした円および暗号通貨資産の出金を停止し、11月10日に関東財務局から業務改善命令とともに1ヶ月間の一部業務停止命令を受けました。顧客資産の返還に関わる取引以外は認められておらず、11月11日に日本円の引き出しを再開したところです。

[関東財務局、FTXジャパンに行政処分 交換業を停止要請](#)

米国の破産申請が日本法人に与える影響について、金融庁幹部は「実務上わからない部分もある」としながらも、「日本の顧客の資産は、当社とは別に管理・保全されている」と述べた。「時間はかかるかもしれないが、お客さまから要望があれば返すということに変わりはない」という。

③FTX破綻で他社への波及を懸念

FTXは今月、同社の関連会社の資産に問題があると報道され、顧客が資金の引き出しを急いだため、資金不足に陥りました。同業他社に救済を求めなかったため、倒産に追い込まれました。

年初から価格が急落している仮想通貨業界では最大の破綻とみられ、他社への波及が懸念されます。

FTXによると、最高経営責任者サム・バンクマン・フリード氏が辞任し、後任の最高経営責任者は、2001年に米エネルギー大手エンロンの破綻処理を担当したジョン・レイで、破綻処理を続行するという。

ロイター通信によると、破綻後に辞任したバンクマン・フリード前CEOは、FTXの顧客資金100億ドルをひそかに自分の投資会社に移し、そのうち約10億~20億ドルが用途不明になっているという。

米国メディアの報道によると、FTXは資産と負債がそれぞれ100~500億米ドルに相当し、債権者は10万人以上いるという。また、FTXが顧客資産を不正に流用し、関連会社に約100億米ドルを貸し付けていたことが報じられています。

FTXの最新情報や仮想通貨相場などに関してもっと知りたい方は、[BTCCのホームページ](#)をご参考ください。

[BTCC公式サイト](#)

BTCC取引所は、イギリスに設立された暗号資産デリバティブ取引所です。「信頼ができる暗号資産取引を誰もが簡単に利用できる」ことをモットーに、12年以上サービスを提供しています。ロンドンに本部を置くBTCCは現在日本での登録者数が徐々に増加しており、またSNSを通じて日本限定のキャンペーンも度々開催されています。

[BTCC口座開設はこちら](#)

【あわせて読みたい】

[アラメダの財務不安で、FTX買収撤回の原因か](#)

[FTX、アラメダに100億ドルの顧客資金を「不正流用」か](#)

[FTXトークン（FTT）は74%急落 バイナンスのFTX買収合意を受け](#)

[バイナンス、FTX米国以外の事業買収の合意を発表](#)

[バイナンス、FTX買収を撤回 ビットコインとFTXトークン急落](#)

[FTXトークン（FTT）は74%急落 バイナンスのFTX買収合意を受け](#)

[FTXトークン（FTT）とは？ 特徴や将来性を解説【仮想通貨】](#)